

水稻新品種「佐賀 18 号」の特性

広田雄二・松雪セツ子¹⁾・松本和大²⁾・横尾浩明¹⁾・徳田眞二

(佐賀県農業試験研究センター ¹⁾佐賀県農業試験研究センター三瀬分場 ²⁾東松浦農業改良普及センター)

Yuji HIROTA, Setsuko MATSUYUKI, Kazuhiro MATSUMOTO, Hiroaki YOKOO and Shinji TOKUDA .
Agronomic Characters of New Rice Cultivar "SAGA 18"

現在、佐賀県の上野原部では早生の「日本晴」、中生の「ヒノヒカリ」が作付されているが、食味の面で「日本晴」の流通評価は低下してきており、これに替わる食味の良い高品質品種が強く要望されている。また、「ヒノヒカリ」地帯では作付が偏重し、一部には共同乾燥調整施設での荷受けの集中や、刈り遅れ等による品質の低下を招いている。このため作期移動により収穫期の分散を図っているが、十分な対応とはならず、「ヒノヒカリ」より早生の品種が望まれている。

そこで、佐賀県農業試験研究センターでは 1999 年に早生の中の「佐賀 18 号」を育成したので、育成経過および特性について報告する。なお、特性は対象品種を明記した部分以外はすべて「日本晴」と比較した。

1. 育成経過

本品種は 1991 年に早生、良質、良食味を育種目標に、短稈、良質、良食味の「キヌヒカリ」を母、良食味である「東北 143 号 (後の「ひとめぼれ」)」を父とした人工交配による組合せに由来する。同年 11 月に F₁、翌年 6 月に F₂ 集団を養成し、1993 年 F₃ 世代で個体選抜を行い、以後系統栽培で選抜と固定を図った。

1995 年 (F₅) は「さ系 258」の系統番号で生産力検定予備試験と特性試験、1996 年 (F₆) 以降は「佐賀 18 号」の系統名で生産力検定試験に加え現地試験にも供試し、地域適応性を検討した。また、1997 年 (F₇) からは流通評価試験にも供試し、市場評価も行った。

2. 形態的特性

稈長はやや長く、穂長はやや短く、穂数は同程度の中間型である。葉色はやや濃く、止葉立性は同程度、粒着密度はやや密で、芒はない。ふ先色と穎色は黄白で、脱粒性は難である。1 穂粒数は同等だが、1 次枝梗に着く粒数の割合は高い。

3. 生態的特性

出穂期および成熟期はそれぞれ 3 日、4 日早く、早生の中に属する。稈の太さは中だが、剛柔はやや柔で、耐倒伏性はやや劣る。穂発芽性は中である。

いもち病真性抵抗性遺伝子型は Pii を持つと推定され、圃場抵抗性は葉いもち、穂いもちも弱である。白葉枯病抵抗性は「ヒノヒカリ」と同等のやや弱である。収量性は同程度で、「ヒノヒカリ」よりやや優れる。

4. 品質および食味

玄米の大きさは中で、形状は長さが短く、幅および厚さは大きく、厚い。腹白、乳白および心白米の発生は少なく、外観品質は優れる。玄米千粒重は同程度である。

炊飯米は光沢が強く、粘りがあり軟らかで、食味総合評価は明らかに優れ、「ヒノヒカリ」と同程度の上の中である。

5. 適応地帯

本品種はいもち病に弱いため、標高 200m 以下の山麓地帯の「日本晴」に替えて普及させる予定である。また、「ヒノヒカリ」より 10 日程度早熟であるため、「ヒノヒカリ」の一部代替としての普及も見込まれる。

6. 栽培上の注意

耐倒伏性がやや弱で、いもち病に弱いので、多肥栽培は避け、適期防除を行う。

第 1 表 「佐賀 18 号」の生育特性

品種 系統名	佐賀 18 号	日本晴	ヒノヒカリ	
早晚性 草 型	早生の中 中間型	早生の晩 偏穂数型	中生の中 偏穂重型	
出穂期 (月 日)	8.14	8.17	8.21	
成熟期 (月 日)	9.20	9.24	10.01	
稈長 (cm)	86	81	86	
穂長 (cm)	19.4	21.7	19.2	
穂数 (本/m ²)	320	312	332	
一穂粒数	86	86	83	
倒伏程度	1.6	0.6	0.3	
穂発芽性	中	やや易	難	
耐 病 性	葉いもち (推定遺伝子型)	弱 Pii	中 Pia	やや弱 Pia,t
	穂いもち	弱	中	やや弱
	白葉枯病	やや弱	中	やや弱
玄米重 (kg/a)	55.5	55.0	54.1	
同上標準比 (%)	101	100	98	
玄米千粒重 (g)	22.5	22.4	22.8	
玄米品質	上中	上下	上下	
食味	上中	中上	上中	

注) a) 育成地における 1996 ~ 1998 年の標肥栽培の成績
b) 移植は中苗の 3 本/株で行った

第 2 表 「佐賀 18 号」の玄米形状

品種 系統名	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	長さ /幅	長さ ×幅
佐賀 18 号	5.14	3.04	2.10	1.70	15.63
日本晴	5.25	2.96	2.03	1.77	15.54
ヒノヒカリ	5.12	2.97	2.05	1.72	15.21

注) 1997 ~ 1998 年標肥栽培の玄米を調査